

# 渋川・北群馬・吾妻地区 第1回 県立高校の在り方に関する検討会

令和8年3月30日

群馬県教育委員会

## 澁川高等学校



充実した総合的な探究の時間

## 1920年創立の普通科男子校

- 充実した総合的な探究の時間  
「i Program」
- 県立女子大学と連携した  
「国際理解授業」
- SAH (Student Agency High School) 協力校

## 渋川女子高等学校



SAH指定校として生徒主体の取組を推進

## 1920年創立の普通科女子校

- 「しなやかに ～粘り強く～」  
を体現する生徒育成
- アメリカ語学研修
- 全校榛名登山
- SAH (Student Agency High School) 指定校

## 澁川青翠高等学校



系列の専門性を生かした学び

1977年創立 県北部で唯一の総合学科高校

- 進路目標に応じて系列や科目を選択
- 総合学科の学びを共有・深化させる学習成果発表会
- キャリア教育を中心に社会人基礎力を育成
- 食物部・箏曲部・和太鼓部など特色ある部活動

## 澁川工業高等学校



県内唯一の自動車科

## 1958年創立の工業高校

定時制を設置

- 自動車・機械・電気・情報の専門技術を磨く工業高校
- 県内唯一の自動車科など実習中心の学びが充実
- 資格取得や技術系大会で成果を挙げる実践的な学び
- アイスホッケー部やボクシング部などの特色ある部活動

## 吾妻中央高等学校



2018年創立の共学校。普通・生物  
生産・環境工学・福祉科を設置

- 普通 + 3 専門学科で地域と結ぶ実践的学習
- 福祉科で介護実習を重ね国家資格を目指す
- 文科省DXハイスクール指定校
- 日本水大賞・大賞、全日本ホルスタイン共進会ハイスクールデイリーグランプリ受賞等、様々な賞を受賞

## 長野原高等学校

## 1952年創立の普通科高校

- ぐんまコミュニティー・ハイスクール指定校
- 「あつとほーむ」を合言葉に地域に密着した教育実践
- 地域の観光資源等を活かした体験的探究活動
- 2、3年次は、文系・理系・商業・家庭・体育・芸術など、多様な選択科目を用意



地域に密着した学びの推進



## 孺恋高等学校



地域と連携した特色あるカリキュラム（全国募集）

## 1952年創立の普通科高校

- 地域と連携した探究活動を軸に学ぶ「未来創造コース」と「探究アスリートコース」の2コースを設置
- 文科省DXハイスクール指定校
- 全国から生徒を受け入れる住環境を整備
- オリンピック選手を輩出するスケート強豪校
- 孺恋中学校との連携型中高一貫教育の実践

(R7学校要覧等をもとに作成)

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

学校名	課程	R7.3 卒業者 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
			大学	短大	専門 学校等	就職	
渋川	全	187	162	1	8	6	1920年創立の <b>普通科男子校</b> 。5 5分授業。校訓：質実剛健、堅忍持久 「学び続ける力を備えた人材の育成」…生涯にわたって学び続け、主体的に社会的課題の解決に取り組むことのできる資質・能力を育成する
渋川女子	全	193	169	6	10	0	1920年創立の <b>普通科女子校</b> 。SAH指定校。 校訓「道理と真理へのたしかなあゆみ」「勤労と趣味へのたしかないなみ」のもと「実りある豊かな学習」「規律ある明るい生活」「健康で伸びやかな心身」を教育目標とし、知・徳・体のバランスを重視した教育活動を展開
渋川青翠	全	140	21	4	58	53	1998年に校名変更(1977年開校の渋川西高校から)した <b>総合学科高校</b> 。 A:アカデミア、B:ビジネス、C:カルチャー、D:デザインの4系列。 教育目標：心身ともに均衡のとれた、人間性豊かな、実行力のある社会人を育成する。
渋川工業	全	139	26	2	29	82	1958年創立の <b>工業高校</b> 。機械科、自動車科(県内唯一)、電気科、情報システム科の4学科を有する。 教育目標：個性の伸長を図るとともに、自ら考え判断し、産業社会で意欲的に活動する、誠実で思いやりのある人材を育成する。
〃	定	11	0	0	8	3	1963年設置。工業技術科、男女共学。

(R7学校要覧等をもとに作成)

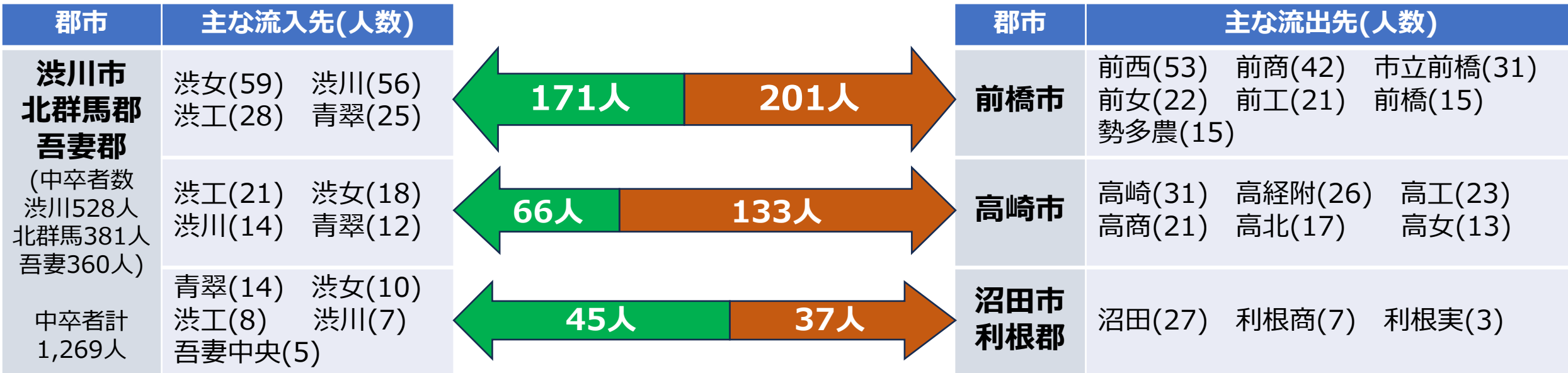
課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

学校名	課程	R7.3 卒業者 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
			大学	短大	専門 学校等	就職	
吾妻中央	全	151	48	5	52	43	2018年開校の <b>普通科と3つの専門学科</b> （生物生産科 [植物科学コース・動物科学コース]、環境工学科、福祉科）を併置する学校。 グラデュエーションポリシー（卒業までに身に付けられる力） ○吾妻とともに育む「夢実行力」 ○社会の一員としての自信と、しなやかでたくましい心 ○未来を見据えた確かな学力と、日本を支える3つの専門性
長野原	全	19	0	2	7	7	1952年創立の <b>普通科共学校</b> 。 「ぐんまコミュニティ・ハイスクール」指定校として、地域と一体となった教育事業を推進。 教育目標「個を伸ばし、和を育む教育の推進」 “あっとほーむ長野原”を通して一人ひとりの持ち味や特技を伸ばし、互いに思いやり協調する心を育む。
孺恋	全	17	3	1	10	2	1952年創立の <b>普通科共学校</b> 。連携型中高一貫教育推進校。 2025年度入学生から、未来創造コース、探究アスリートコースの2コース制に改編し、カリキュラムを大きく変更。 全国生徒募集（探究アスリートコースはスケート又はスキー実技選択者）を実施。

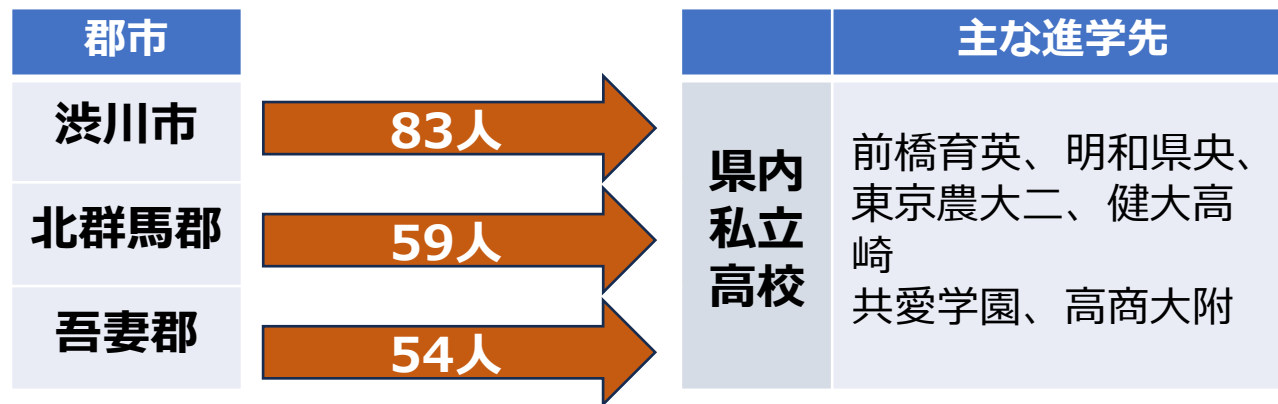
# 10 課題 1 教育機会の維持

## 現状：地区外へ進学する生徒が増加し地域の高校教育機会の維持に懸念

### 【令和7年度中卒者の動き】



### 【令和7年度の県内私立高校への進学者数】



#### <頂いたご意見から>

- ◆「私立が無償化になれば、ますます県央地域への進学者が増加するだろう」
- ◆「子供たちに知る喜び、学ぶ楽しさを教えられる教育の質の維持が課題」

## 検討の視点例(1)

### 大学進学を主な進路となる進学の拠点をどう確保するか

<頂いたご意見から>

- ◆ 「大学進学に向けて生徒が安心して学べる、一定の規模の学校が必要」
- ◆ 「子供たちの進路を保障するための普通科の拠点となる学校が必要」

#### 【地区内で大学進学の多い高校の取組例】

- i Programによる探究的な学びの深化：渋川高校
- SAH指定校として自律した学習者を育てる授業改善：渋川女子高校

#### 【他地区の例】

- 単位制による生徒主体の学び 文理探究コースの設置：沼田高校
- SSH（スーパーサイエンスハイスクール）による  
先進的理数系の探究的学び：前橋高校、前橋女子高校  
高崎高校、桐生高校



## 検討の視点例(2) 専門教科をしっかりと学べる学校をどう維持するか

<頂いたご意見から>

- ◆ 「渋工、青翠、吾妻中央の3校で行われている学びの維持をどう考えるか」
- ◆ 「専門高校が小規模化すると、学びの専門性が担保できないのではないか」

### 【現在の取組事例】

- 県内唯一の自動車科：渋川工業高校
- 4系列による多様な専門教育：渋川青翠高校
- 介護福祉士国家試験受験可能校 R6実績28名
- 環境工学科が日本水大賞大賞受賞：吾妻中央高校



## 検討の視点例(3)

地区内で誰一人取り残さない学びや、地域人材育成をどう確保するか

<頂いたご意見から>

- ◆ 「中学時代に学校に通えなかった生徒が定時制や小規模校に通って、地域の中で人と触れ合い成長できることも多い」
- ◆ 「地域ならではの魅力ある教育が必要」 「将来的に地域社会で活躍する人材になってほしい」

### 【現在の取組事例】

- 定時制課程での多様な学びの機会：渋川工業高校
- GCH（ぐんまコミュニティハイスクール）地域との緊密な連携  
：長野原高校
- 未来創造コース、探究アスリートコース  
村宮浅間寮の整備による全国募集：孺恋高校



# 14 課題2 地区の高校の小規模化

現状：15年後には1学年当たり平均2学級を割る可能性も

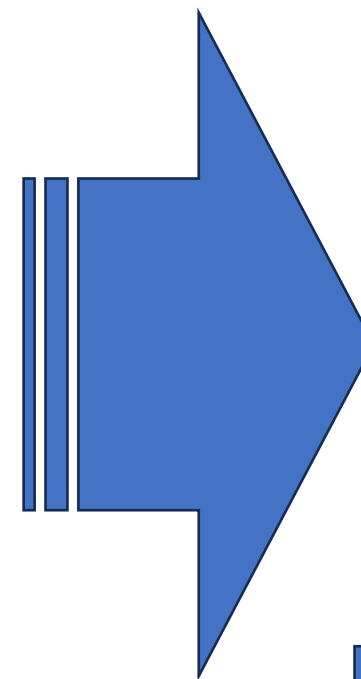
<頂いたご意見から>

◆「特に渋川・吾妻地区で急速に進む生徒減にどう対応するか」

## 学級数及び学校数の見込み

高等学校名	学科等	令和8年	令和13年
学校数		7校	—
渋川	普通科	4学級	25学級 18.5学級
渋川女子	普通科	5 "	
渋川青翠	総合学科	3 "	
渋川工業	工業系学科	4 "	
吾妻中央	普通科/農業系学科/福祉科	5 "	
長野原	普通科	2 " *	
嬭恋	普通科	2 " *	

R8 平均3.6学級



令和22年

—

12.7学級

R22 平均1.8学級

(学級数はR5～R7の地区別出身者の割合をもとに算出)

# 15 課題2 地区の高校の小規模化

## 検討の視点例：公立高校の校数についての検討

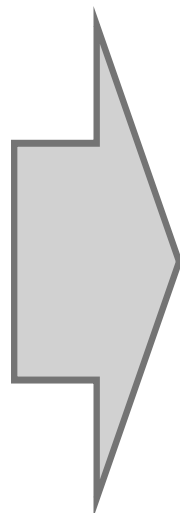
<頂いたご意見から>

- ◆「この地区に何校必要なのか、高校の在り方を早急に検討する必要があると痛感」
- ◆「校数の精査は必要だが、小さくても満足度の高い学校にはニーズがある」

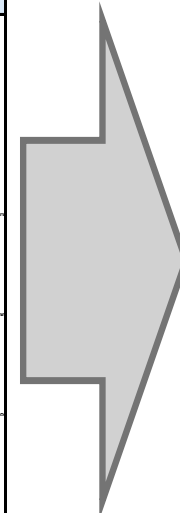
### ○入学見込者数によるシミュレーション

(R5~R7の地区別出身者の割合をもとに算出)

	R8		
	学校数	学級数	
		合計	平均
渋川 北群馬 吾妻 地区	7	25	3.6



学校数	R13	
	学級数	
	合計	平均
7	18.5	2.6
6		3.1
5		3.7
4		4.6



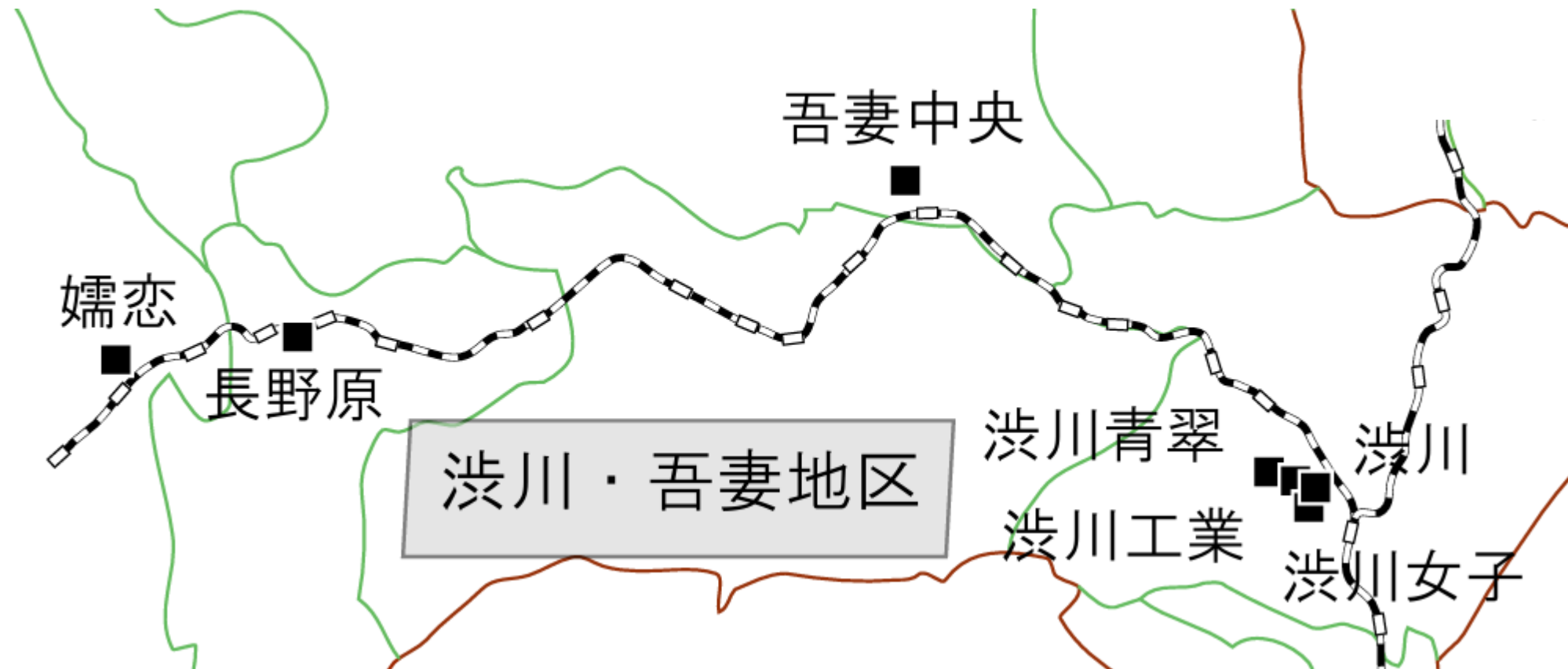
学校数	R22	
	学級数	
	合計	平均
7	12.7	1.8
6		2.1
5		2.5
4		3.2
3		4.2

## 16 課題3 通学上の困難

現状： 地区内が広く、居住地によっては通学に時間と費用がかかる

<頂いたご意見から>

◆「公共交通機関で通学できる学校が限られ、時間も費用も負担が大きい」



# 17 課題3 通学上の困難

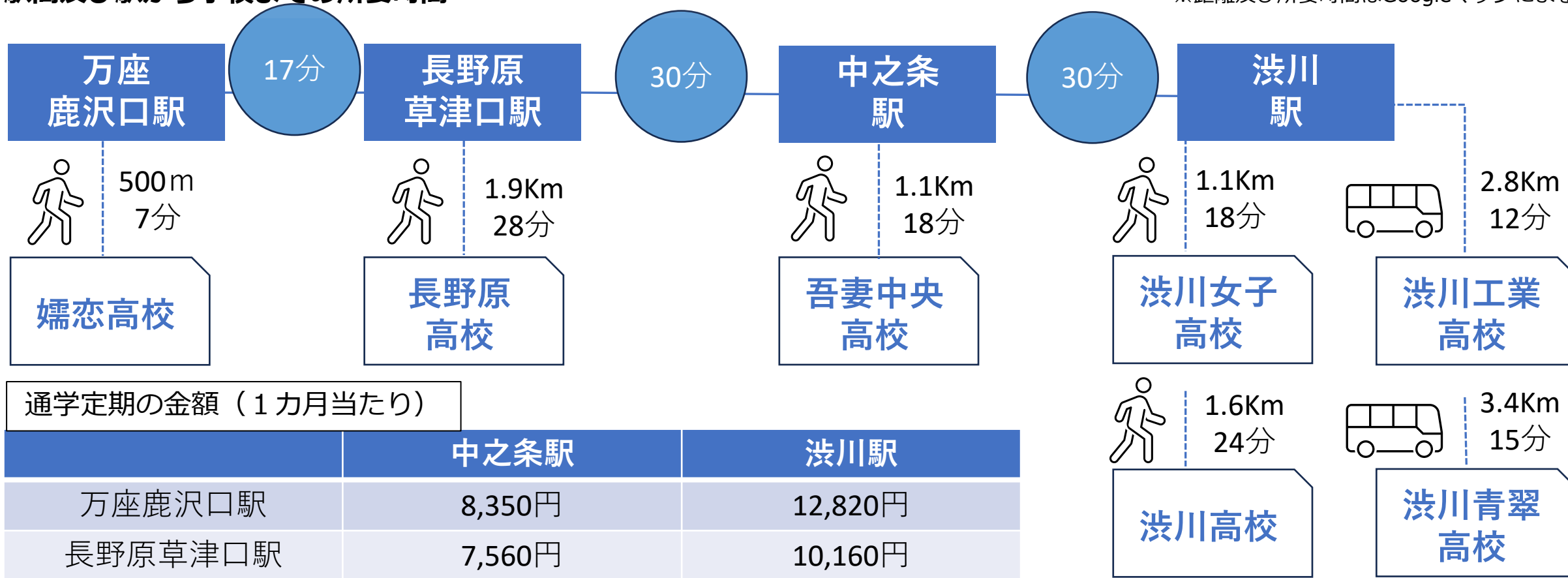
## 検討の視点例：高校の配置（交通の便）

<頂いたご意見から>

◆「通いやすい場所にあることが、学校を将来的に維持していく条件として重要。駅近、周辺道路事情などに配慮すべき」

駅間及び駅から学校までの所要時間

※距離及び所要時間はGoogleマップによる



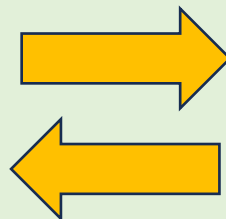
## 18 今後の検討の進め方（案）

検討会で上がった課題・テーマについてワーキンググループ（WG）を設置して原案作成を行い、その案をもとに全体の地区別検討会で検討する。

### 地区別検討会

（進行：座長）

- 課題の洗出し
- WG案の検討
- 必要に応じアンケート等実施
- 課題別に最終案決定  
⇒ 生徒、地域の未来にとって、どのような高校が必要かについて県教委に提出



全体事務：県教育委員会事務局  
高校教育課

WG（進行：事務局）

- 検討会に向け原案作成を行う

・  
・  
・

WGメンバー（10名～20名程度）

- 課題、テーマに応じた関係者により構成